

昭和56年 広 報

7 月号

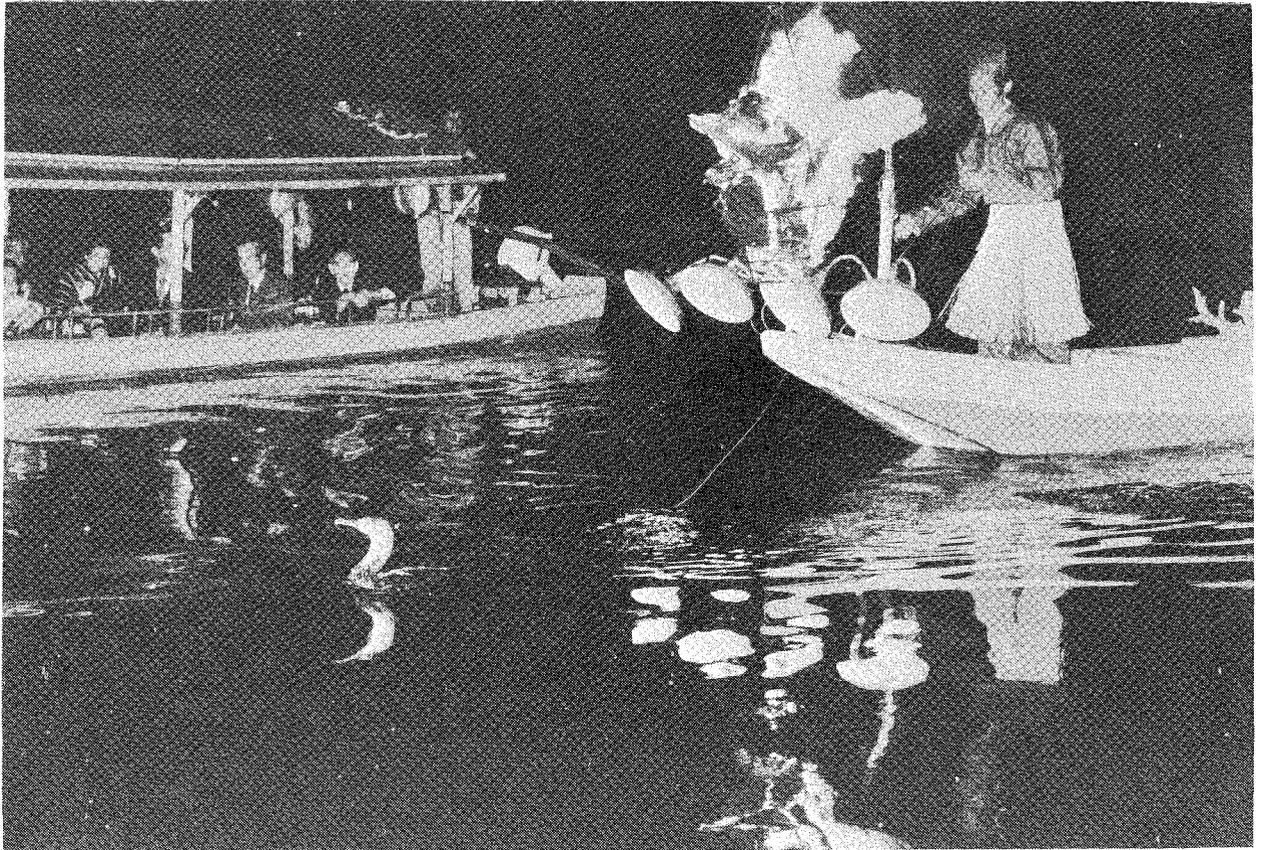
No.304

おおす

昭和56年 7 月 1 日発行 発行 大洲市役所 編集：市長公室

市民のうごき

5 月末現在(前月との比較)		
人 口	39,291人	(+36人)
男	18,767人	(+26人)
女	20,524人	(+10人)
世 帯	12,002世帯	(+43世帯)
面 積	240.93平方キロメートル	



“うかい”25周年

昭和32年に始められた“うかい”は、今年で25年になります。

当初は遊覧舟三隻で行っていましたが、現在はう舟三隻と遊覧船60隻で日本三大うかい

の一つに数えられるようになりました。

昨年は、冷夏・長雨で予想外の不振に終わったので、二十五年目にあたる今年こそ、たくさんのお客さんに喜んでもらおうと「おはなはん」など八羽のうと関係者ははりきっています。

今月の納税

▶ 固定資産税 (第二期)
▶ 国民健康保険税 (第一期)

納期は 7 月 31 日

年々増え続けるゴミ 処理に困っています



多量のゴミ処理に係員は汗だく

わたしたちの毎日の生活から生まれてくる「ゴミ」の量は、年々増えています。市では、住みよい生活環境を実現するために努力をしていますが、ゴミの多様化、大型化など処理に困るものも多くなってきました。特に七、八、九月の夏場は、水分を多量に含んだ燃えにくいゴミが多くなります。このような状態を解決するには、市民の自覚、特に家庭でゴミの処理をする主婦のみならずのご協力が必要です。
今月は、大洲市のゴミの実態にスポットをあててみました。

大洲市のゴミは…

昭和五十五年度のゴミ量は、可燃物（もえるゴミ）、不燃物（燃えないゴミ）を合せて年間九千百十六トンにもなります。そして、これらのゴミを処理するのに、四千八百二十九万円の費用が使われています。

日々の暮らしが近代化し、食生活が多様化してきますと、それに伴いゴミの種類も増え、量も増加してきます。大洲市においても、毎年七、八、九月の割合で増加しています。不燃物の処理は、長谷地区の不燃物埋立処理場で行い、可燃物は竹地区のじん焚焼却場で行っています。昭和五十五年度、焼却場では、七千七十七トン焼却処理しています。稼働日数が三百十日ですので、毎日二十二・八トンのゴミを焼却していることとなります。施設の処理能力は、日量二十トンですので、それを上回る処理を毎日行っていることとなります。

焼却場の処理能力を大きくすることも必要ですが、その前に、わたしたちの日々の暮らしの中から出るゴミの減量も考えてみる必要があるようです。

ゴミの減量は どうすればよいか…

まず最初に選別を

ゴミといえば、汚いもの、臭いものというイメージがすぐ浮かびますが、全部が全部そうではありません。ゴミの出身を分析してみますと——一般家庭から出るゴミの約半分は台所などの生ゴミですが、残りの半分は、資源として再利用できる新聞紙や古雑誌などの紙類、空きかん類、びん類などです。紙類は、まとめておいて古紙回収業者などへ、ビン類も特定のものだけをば小売業者が引き取ってくれます。また、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、家具などの大型ゴミの中には、ちよつとした修理をするだけで充分使用できるものが数多くあります。

このように、資源として再利用できるもの、まだまだ使用できるものをゴミとして処理してしまうのは、資源のムダ遣いです。まず最初に、ゴミであるかどうかの選別を確実に行うことが必要です。

次に、燃えるゴミと

燃えないゴミの分類を

燃えるゴミと燃えないゴミでは、処理する場所も方法もちがいますので、必ず分類して指定の日に出すようにしてください。ビン類、空きかん、プラスチックなどの燃えないゴミが、まだ一割から二割も燃えるゴミの中に入っているようです。

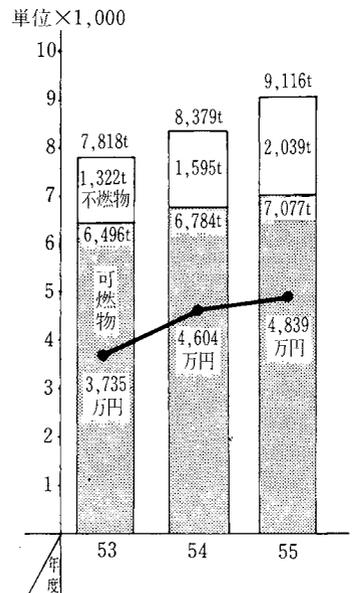
また、栓をしたままのビン、スプレーなどをそのまま燃えるゴミの中に混ぜて出すと、焼却中に炉の中で爆発し危険ですので、ビン類は栓をはずし、スプレーは穴をあけて燃えないゴミの収集日に出してください。

夏場には

特にいま一度水切りを

夏場のゴミは、約七十パーセントが水分といわれています。スイカやメロンのくだもの皮や残飯類が十分な水切りをされないままゴミとして出されます。そのため、夏の暑さのため腐敗し異様な臭気を出し、ゴミ収集場や道路にまでも臭気が残ります。

昭和53～55年度の
ゴミ処理量と処理費用



また、焼却場でも水分が多過ぎるために、古タイヤなどで火をつけ悪臭苦悶して水分の多いゴミを燃やしています。ゴミの焼却には重油を使用していますが、夏場で年間使用量の半分近くを使用しています。

家庭の主婦のほんの少しの努力で、ゴミの水切りができます。

○スイカなどくだものの皮は、半日でも陰干しをすると、かなりの水分がとれます。

○目のこまかい網やストッキングを利用して、台所の生ゴミの水切りをするのも一つの方法です。

○水と一緒に出る茶ガラ、みそ汁のカスなどは、水切り容器に二〜三時間入れているだけでかなりちがいます。

○生ゴミは大半が土に帰ります。可能なかたは、畑の片隅や庭の片隅に穴を掘り埋めるだけで土に帰ります。

「ゴミを出す時のエチケット」

ゴミを出す時には、次のことに注意してください。

①ゴミ袋は、すぐに破れないものを使用して、口をしっかりりと結んでください。

②燃えるゴミと燃えないゴミを一緒に出さないでください。

③悪臭防止のために、水切りをしつかりとして出してください。

④危険性のあるもの、例えばスプレーなどの空き缶は、燃えるゴミの中に入れてないようにしてください。

⑤必ず決められた日に出してください。

前日に出されると、雨にぬれたり、野犬に食い荒され近所のかたが迷惑します。

ゴミについてのお問い合わせは、市保健衛生課衛生係まで。

☎2111内線228

成能地区へ給水始まる

森山簡易水道拡張工事が完成



完成した鳥首配水施設

昭和五十五年度事業として工事を急いでいました森山簡易水道拡張工事（成能地区）がこのほど完成し、五月より給水を開始しました。

この事業は、国、県の補助金および国民年金資金の融資を受けて、総事業費一億九百二十一万円で成能地区への給水施設が完成しました。

成能地区は、標高百二十から二百メー

トルに点在する地域です。今までは、井戸水や湧水などの自家用水を使用していましたので、夏場や秋口に湯水の心配がありました。この施設の完成によりその心配もなくなりました。

水源は、肱川沿いの平地に置き、二台のポンプにより、日量八十六立方メートルの取水が可能です。六ヶ所の配水池より給水し、水道管の総延長は、一万三千メートルにもおよび広範囲な施設です。

これにより、杖ノ瀬、坊屋敷、鳥首成能本村、志茂、護葉、二本松の百十七世帯、四百七十六の人が湯水の心配もなく、安心して飲料水を使用することができるようになりました。

もえないゴミの収集日

収集日	地区名
第1土曜日	肱南(下記以外の地区)、平野、南久米、大川
第2土曜日	肱北(渡場、殿町、常盤町、松ヶ花、徳森、新谷、菅田、柳沢)
第3土曜日	肱北(上記及び下記以外の地区)
第4土曜日	肱北(田口、市木、五郎駅前)、八多喜、春賀
第2金曜日	肱南(柚木、龜山)
第3金曜日	肱北(肱川区)
第4金曜日	上須成

運動公園の水泳プール

7月下旬にオープン

八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合の運動公園に昭和五十四年度から建設を進めている各種プールの内中心になる「五十メートルプール」が七月下旬にオープンいたします。

この水泳プールは公園入口の左側の約三万平方メートルの用地を造成し、昨年の八月に着工しました。プールはアルミ張りで五十メートルコース八コースです。レジャー用プールなので公認コースにはせず、観覧席や管理棟も併設されます。

今後、ひょうたん形の幼児用プールスライダープール、流水プールや付属設備などが計画されています。

他の施設と合せ運動公園は、スポンズのメッカになると期待されています。

水も限りある資源です
大切に使いましょう

水と緑のまちおおず
をきれいに
7月19日に
郷土美化運動

市民の一人ひとりが参加し、きれいな大洲の実現のため、毎年行っています。郷土美化運動を今年も七月十九日午前七時から、全市いっせいに実施します。

この運動も今年で八回目を迎え、年ごとに住民の自主的活動として定着し成果をあげています。ふるさとの美化は、自分たち自身の手でという意識が芽ばえてきています。

今年も、次のとおり行いますので、ふるさとのおおずの美化のために、みなさんの参加をお願いいたします。

お問い合わせは、市保健衛生課に
☎2111内線228

郷土美化運動

日時 7月19日午前7時〜11時

雨天の場合は後日実施

実施区域 ○肱川の本流および支流

○市道、県道、国道、街および公園

作業内容 ○河川、道路、街、公園の清掃、草刈り、ゴミの収集除去

○下水溝の清掃

大洲西トンネルが貫通

— 完成は五十八年春 —

国道一九七号線バイパスとして建設を進められている大洲西トンネルの



大洲西トンネルの貫通式が五月十一日にトンネル内で行われました。

同バイパスは、市内の慢性的な交通渋滞を解消するために昭和五十四年十月に着工し、五十八年春の完成を目指しています。延長は二千四百メートル、総工費は三千億八千万円。西トンネルはこのうち千七百七・八メートルで幅員九・二五

メートル。両側には一・五メートル、〇・七五メートルの歩道が設けられ、車道は二車線で六・五メートルです。貫通式は、午前十時半からトンネルのほぼ中央部で、近田市長、森建設省大洲工事事務所長など関係者百五十人が出席して行われました。未開通部分にセツトされた最後の発破のスイッチが押されると、「ドーン」という音とともに貫通し、続いて近田市長や森所長が通り初めをし、貫通を祝うとともにこれからの工事の安全を祈りました。

完成すれば、平野・北只間は大幅に短縮されます。また、大洲バイパスが完成すれば、西バイパスと接続し、バイパスが完成しても国道はそのまま残ります。市街地の交通渋滞が解消されるものと期待されています。

消費生活モニター委嘱



昭和五十六年度の「大洲市消費生活モニター」の委嘱式が、五月九日に中央公民館で行われました。消費生活モニターは、市民の消費生

活の安定および向上を図るために、消費者の意見や情報を吸収し、行政や業界に反映させるために設けられています。モニターは二十名で、任期は一年となっています。消費生活に関して意見や苦情がありますときは、各地区のモニターまたは市商工観光課(☎④-2111内線225)へご連絡ください。

委嘱した各地区の消費生活モニターは、次のかたがたです。()内は電話番号です。
 脇南地区 新田雅子(④5465) 西尾ちどり(④4756) 高見フミ(④3520) 松井満子(④4726) 成子(④6246) 忽那博子(④3715) 白石

これから一年間よろしく願っています。
 脇北地区 矢野共子(③2892) 岡崎エミ子(③3124) 田丸美恵子(④5831) 城ノ戸恵子(④4275) 吉岡悦子(④5077) 平野地区 近藤ひろみ(③3414) 南久米地区 清水淑子(④4727) 菅田地区 西野三代子(④3939) 大川地区 小山サト子(⑦0101) 柳沢地区 中嶋千恵子(⑤4774) 新谷地区 二宮智子(⑤0501) 三善地区 富永香代子(⑥1257) 八多喜地区 上田芳加(⑥0629) 上須成地区 梶谷幸子(⑥1190)

事業所統計調査

7月1日に実施、「」協力を

昨年行われた国勢調査とやらんで国の最も基本的な統計調査である「事業所統計調査」が七月一日、全国いっせに行われます。

この調査は、昭和二十二年にスタートし、以後三年ごとに行われているもので、わが国の経済活動の基礎である事業所の実態を、全国ならびに地域別に明らかにすることが目的です。調査の結果は、国、都道府県、市町村の行政や経済施策をはじめ、民間では事業計画を立てる際の基礎資料として利用されます。

調査の対象となるのは、会社、工場

廃車にしたらずぐ手続きを

軽自動車税係より

軽自動車税の納税通知書を送付いたしますと、この車は、廃品として処分したので「もうありません」といわれるかたがあります。しかし、軽自動車税の「廃車」とは、

六月下旬からすべての事業所を訪問して調査票の記入を依頼し、七月中旬までに回収しますのでご協力をお願いします。
 なお、調査内容は、統計作成のためにだけ使用し、他の目的に使用することはありませんので、ありのままを記入してください。
 詳しくは、市総務財政課統計係まで
 ☎④2111内線208

国民年金を

忘れていませんか

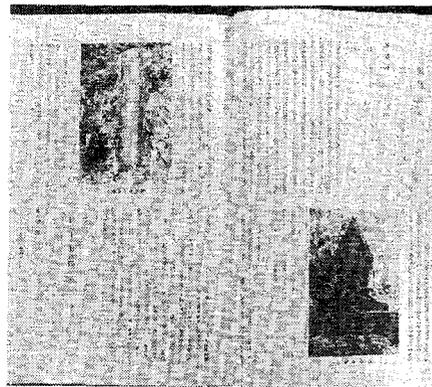
四、五、六、月分の国民年金保険料は、もう納めましたか。保険料を納め忘れますと、万一、事故があったとき障害年金や母子年金などが受けられないばかりか、将来、老齢年金さえ受け

られないことがあります。もし、過去の保険料に納め忘れがあるときは、二年前までの分であれば松山社会保険事務所に納めることができます。もう一度調べてみましょう。詳しいことは、大洲市国民年金係にご相談下さい。
 ☎④2111内線205

「大洲市碑録」が完成

先覚者の足跡を調査収録

大洲市政二十五周年記念事業の一つとして、大洲市教育委員会が調査・編集を進めていました「大洲市碑録」がこのほど刊行されました。



碑録は、B5版百八十三ページで、千五百部発行。郷土にゆかりの深い先覚者のうち、大正末期までに亡くなった百八十人の墓、記念碑などを調査しその碑文、あわせて略伝などを収録しています。調査は、大洲市文化財保護審議会委員の人たちが、昭和五十四五年の二ケ年にわたり行いました。

構成は、市内を大洲山根、柚木、城山・三ノ丸、鉄砲町、

権の森・八尾・阿蔵、中村・若宮、田口・市木・徳森・五郎、平野、南久米、菅田、大川、柳沢、新谷、三善、八多喜、上須戒の十五地区に分けています。それぞれの土地にゆかりの人々の墓碑などを、写真位置図を付して、所在地がすぐわかるように配慮されています。郷土史の貴重な資料として、また大洲市の先人たちを知るのに欠くことのできないものです。

第一集で収録できなかった人のものなどを調査、整理して第二集の出版も計画されています。

市教育委員会では、この「碑録」をご希望のかたに実費（九百円）でお分けしています。詳しくは、教育委員会社会教育課までお尋ねください。

☎42111内線268

生きていく差別と

解放への展望

我々には知られないままに終わっていることがあるのです。

今月よりの新しいシリーズで、主として私たちの周辺に存在している差別の事例を中心として、差別をあたりまえとして許していることはいらないであらうか。など、同和問題の実態を明らかにしていきたいと思えます。

差別の現実を見つめることによって、我々の心の中に眠っている差別意識を浮きぼりにしながら、そのような意識

がお互いの人権を侵し合っていることに気づいていくことができます。

幸福を願って営む日々の暮らしの中にも、私たちの願いをふみにじるさまざまな要因がひそんでいます。それらを入権尊重の立場でしっかりとらえ、排除していく学習と実践がなされなければなりません。

すべての住民が、共にわがこととして差別を生み出す社会の現実を見つえたととき、はじめて解決のすじ道が開けてくると思えます。

「部落差別が存在している限り、真の民主社会ではない。」といわれています。

つづく

障害者とともに ④

身体障害者へのエチケット

耳の不自由な人というだけで、話しかけるのをやめてしまう方もいるようです。しかし、耳の不自由な人には、話し好きな人が多いですから、まずあなたの方から心を開いて接してみてください。

耳が不自由といっても、聴力が弱いために声や音がよくきこえない難聴の人から、全くきこえない人まで程度の差はいろいろです。

事故や病気で耳が不自由になった人は話せませんが、生まれつき障害のある人は言葉が不自由です。

しかし、話し合う手段

耳の不自由な人

いろいろある

話し合いの方法

耳の不自由な人たちは、そうでない人に比べて、生活上の不便が多いことはいまさら言うまでもありません。

目覚まし時計が役に立たないために朝寝坊をしてしまったり、近くで火災が起きても消防車のサイレンや人声がきこえないために、全く気がつかなくなったり……

このような、不便で時には危険を伴う生活の中で、目覚まし時計の代わりに扇風機を用い、タイム・スイッチに連動させ風で起床時間を知るなどさまざまな工夫をこらしています。

近くに住むわたしたちがふだんから親しくしていれば、こうした生活の不便も解消されることでしょう。

耳の不自由な人というだけで、話しかけるのをやめてしまう方もいるようです。しかし、耳の不自由な人には、話し好きな人が多いですから、まずあなたの方から心を開いて接してみてください。

耳が不自由といっても、聴力が弱いために声や音がよくきこえない難聴の人から、全くきこえない人まで程度の差はいろいろです。

〈口語(こうわ)〉

口の動きを読みとるものですが、正面から、口をやや大きく開いて、はっ

きり、そしてゆっくり話してください。また「たばこ」「たまご」など、まぎらわしい口の動きをする言葉は、ゼスチャーを交えるとうよいでしょう。

〈手話〉

手まねや身ぶりによるものですが、話し合いが人間関係を深める大きな要素の一つであることから、機会を見つけて手話講習会などに参加したいものです。

〈筆記〉

いわゆる筆談ですが、できるだけわかりやすい文章を用いましょう。多少時間がかかりますが、正確です。

奥さん訪問

稲積

山田はるみさん(26歳)



二人のお子さんと

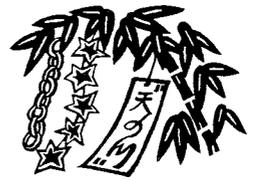
②
今年は里帰りが
したいですね……………



20周年記念式典

大洲市立大洲学園の開園二十周年の式典が五月十九日に大洲学園で行われました。昭和三十六年五月に開園した大洲学園は、五歳から十八歳までの精神薄弱児の教育施設として着実な歩みを続けて現在にいたっています。この間、昭和四十二年には、重棟を増築し翌年には七十人の定員の施設となりました。二

大洲学園 着実に歩み20年



7月7日は七夕

▼熊本八代郡竜北町の生まれです。八代市と熊本市の中間にある町です。両親は今、隣の小川町に住んでいます。

▼高校を卒業し、広島市で就職して主人と知りあい、五十年の十一月に大洲で結婚しました。もちろん、恋愛結婚です。現在は、主人と一人の子供、洋一(五歳)、博文(二歳)の四人暮らしです。もう一人女の子が欲しいですね。

▼主人(秦志さん)は、村上工業に勤



午後からは、親子が参加して大洲学園グラウンドで「開園二十周年小運動会」が行われ、かけっこ、障害走、開園記念リレー、親子リレーなどリハビリテーションを兼ねたスポーツでさわやかな汗を流しました。

健康管理に尽された大洲静心園の篠崎憲次院長と、学園開設以来、毎月欠かさず児童・生徒の散髪奉仕を続けた谷淵ミヤ子さんに感謝状と記念品が贈られました。

二十年間嘱託医として、児童・生徒の健康管理に尽された大洲静心園の篠崎憲次院長と、学園開設以来、毎月欠かさず児童・生徒の散髪奉仕を続けた谷淵ミヤ子さんに感謝状と記念品が贈られました。

迎えた学園の歴史を祝いました。また、二十年間嘱託医として、児童・生徒の健康管理に尽された大洲静心園の篠崎憲次院長と、学園開設以来、毎月欠かさず児童・生徒の散髪奉仕を続けた谷淵ミヤ子さんに感謝状と記念品が贈られました。

表彰 喜多小が 「優秀なことも郵便局」

喜多小学校子供貯金組合は、五十五年中の活動が優れていると、郵政省貯金局長表彰を受け、五月二十五日、大洲郵便局長が同校を訪れて、賞状、記念品の伝達を行いました。

ことも郵便局は、児童生徒の貯蓄実践活動として昭和二十三年から始められたものです。喜多小では、昭和二十六年九月に発足し、約三十年の歴史があります。

国勢調査に功績

中村の佐々山和子さんら

国勢調査の指導・調査に功績があったとして、大洲市において三名のかたに内閣総理大臣から表彰状と記念品が贈られました。

- 指導員 佐々山和子(中村)
- 調査員 松岡久美夫(柳沢)
- 松尾善作(大洲)

めています。よく働いてくれますので別に不満はありません。

▼最初に大洲を見た時は、山が多いところだなと思いました。冬の間、霧がいつまでもあるのは、困りますね。

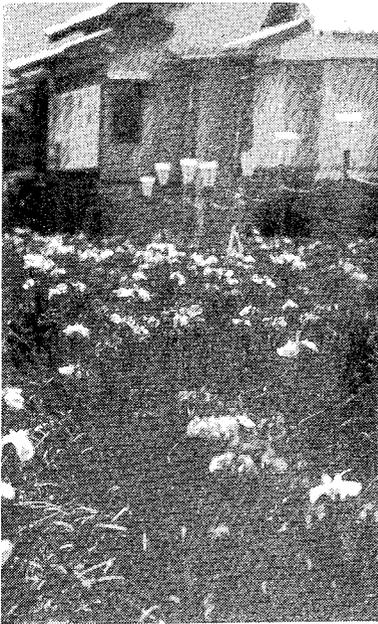
▼二年間、里帰りをしていませんので今年の夏はみんなで帰ろうと思っています。

▼今は、仕事(大洲縫製)に出て働く時が一番充実している時間です。職場の雰囲気もいいです。

新刊図書案内

聖書の天地	犬養道子著
炎の誓い 日蓮	南 敏雄著
秘境西域八年の潜行全巻	西川一三著
わが夫新田次郎	藤原てい著
愛の歳時記	嶋岡 豊著
いくたびの春	入江相政著
日本のシルクロード	樋口清之著
小さくなる親	串田孫一著
自分主義	羽仁 進著
青い鳥のうたーヘレン・ケラーと日本ー	岩崎英行著
ともに生きる	日本放送出版協会
墨の話	神 真山著
文章術	多田道太郎著
古典再入門	岡地文子著
日本の島々、昔と今	有吉和子著
空白の五分間	三輪和雄著
戒嚴令の夜 上・下	五木寛之著
おんな太閤記 上	橋田壽賀子著
昔昔記	真野さよ著
虹の翼	吉村 昭著
春の道標	黒井千次著
人間万事塞翁が丙午	青島幸夫著
冬の川	三好京三著
海嶺 上・下	三浦綾子著
王国への道 山田長政	遠藤周作著
愛の影は長く	芹沢光治良著
戦仕度の日々	宮城まり子著
大人のしつけ紳士のやせがまん	高橋義孝著
子どものごころ戦争があつた	あかね書房編

図書館



しょうぶまつり

六月一日から十五日まで、新谷町のしょうぶまつりが行われました。約五千株のしょうぶが端正な姿で咲き競い、訪れた見物客を楽かせていました。初夏の訪れをつげる花。しょうぶの見頃は七日、八日で、両日は大勢の見物客でにぎわいました。



うがい宣伝隊出発

5月12日に「うがい観光訪問宣伝隊第一陣が市役所前で出発式を行い、香川県や東予方面に出発しました。

宣伝隊は、冷夏・長雨で不振だった昨年の分を取り返そうと、各地の旅館、官公庁、大手企業、観光業者を訪問して「水郷大洲のうかいにどうぞ」とPRを2泊3日で行いました。20日には中予方面に第二陣が、23日には南予方面に第三陣が出発し、観光大洲の名を広めました。

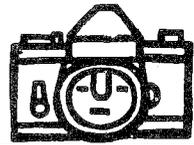
第12回

同和教育研究協議会総会

五月十八日、大洲市立隣保館において、第十二回大洲市同和教育研究協議会総会が開催されました。

五十六年度の事業活動方針として、「あたたかい同和教育の展開」を重点目標として、市民のすべてが取り組むように推進することを決議しました。

カメラ スケッチ



新就職者激励大会

5月9日に、中央公民館において、今年社会人となったフレッシュマンを励ます「新就職者激励大会」が行われました。

今年、市内の企業や官公庁に就職したのは、全部で223人です。会には、新就職者など80名が出席し行われ近田市長、谷本商工会議所会頭、小泉議長らの激励の言葉のあと、西川寿さん、笹田加奈江さんが社会人となった決意を述べました。



昭和56年初級
国家公務員(税務)
募集

次のように「昭和五十六年度国家公務員採用試験(税務)」の受験者を募集しています。

〔受験資格〕 昭和三十六年四月二日から昭和三十九年四月一日の間に生まれた者。今年から女子も受験できます。

〔申込受付期間〕 7月8日～17日

〔申込用紙請求先および申込先〕 〒760 高松市松島町一丁目17-33

人事院四国事務局

※申込用紙は、大洲税務署にも若干の備付があります。

〔日程表など〕

○第一次試験 10月4日(日)
教養試験、適正試験、作文

詳しくは、大洲税務所にお問い合わせください。

☎④3115

夏休みになります

子供に注意しましょう

五月末までの
大洲市内の交通事故

	5月末 現在	昨年 同	年期
件数	74	87	
負傷者	96	97	
死者	0	3	

保健センターだより

☎43775

乳幼児健診



実施日 該当者

7月7日(火) 昭和56年3月生 ※
7月9日(木) 昭和54年12月生
7月14日(火) 昭和55年12月生 ※
7月21日(火) 昭和55年7月生 ※
7月28日(火) 昭和53年6月生 ※

受付時間 13時30分~14時
実施場所 大洲市保健センター

受付時間 8時~10時30分
対象者 満35歳以上のかた、ただし次のかたは除きます。

妊娠しているのが明らかなかた(放射線障害防止のため)
胃の切除術を受けているかた。
検診料 九百円。

婦人集団検診

(子宮がん・乳がん検診など)

期日の実施場所

7月1日(水) 新谷連絡所
7月3日(金)
7月27日(月) 柳沢連絡所
7月28日(火) 菅田連絡所

検診内容

子宮がん検診(七百円) 三千歳以上
乳がん検診(二百円) 上の婦人
貧血検査、尿検査、血圧測定(無料)
十八歳以上の婦人
受付時間 13時~14時

夏は血液ピンチ

「愛の血液助け合い運動」

現代の科学の粋をもってしても、血液は造ることができません。

この事実こそ「献血」——愛の血液助け合い運動の精神です。七月は「愛の血液助け合い運動」が行われます。輸血用の血液が必要なのは、とくに七月に限ったことではありませんが、例年、夏場は一年のうちで最も血液が不足しがちです。

しかし、輸血を必要とする患者さんに「夏休み」はありません。献血で心と心の通い合い——あなたの血液が、病人の心に生命の灯をともします。献血にご協力を。

休日急患診療

7月5日 大洲中央病院 ☎4551
7月12日
7月19日
7月26日
8月2日

まじごころの

おくりもの



- 金一封 大洲 山内 貞子
金一封 黒木 森本 満春
金一封 稲積 上野 武一
金一封(寄付金) 中村 坂井鬼子夫(指定配分)
金一封(上須戒地区社協へ)
金一封(八多喜地区社協へ)
金一封(八多喜町 後藤 松雄)
金一封(八多喜地区社協へ)
金一封(八多喜町 和田伸ヨリエ)
金一封(寄付金を大洲学園へ)
長浜町 谷渕 ミヤ子

(物品の口座)
車椅子 一台(とみす寮へ)
平野町 蔵田 オスエ
以上、社会福祉事業のため預託していただきありがとうございます。
大洲市社会福祉協議会

相談ごと案内

いずれも無料ですので、お気軽にご利用ください。

▶交通事故相談
とき 7月8日 10時~16時
7月20日
ところ 市役所第三会議室

▶人権相談
とき 7月20日 13時~16時
ところ 社会福祉協議会事務局

▶心配ごと相談
とき 7月1日 13時~16時
7月10日
7月27日
ところ 社会福祉協議会事務局

▶家庭児童相談
とき 毎日の執務時間中
ところ 大洲市福祉事務所

▶行政相談
とき 7月22日 10時~15時
ところ 大洲市民会館
急がれる時は電話で

☎43794 (玉木)

▶税務相談
とき 7月16日 10時~15時
ところ 大洲商工会議所
担当 高松国税局税務相談室

▶不動産相談
とき 7月15日 9時~16時
ところ 宅地建物取引業協会大洲支部(株)フヂエダ内)

▶父子家庭相談
とき 7月26日 10時~15時
ところ 大洲市中央公民館
担当 父子相談員ほか
対象者 18歳未満の児童をもつ父子家庭

相談事項 父子家庭における
①児童の養育、教育について
②家事に関して
③人間関係について
④近隣社会について
⑤福祉について
などです。

後記

今月は、ゴミ問題にスポットをあててみました。私たちの生活の中から出るものですが、大量に集まると本当にやっかいなものです。もう一度、日々の生活をふり返って、ムダはないか考えてみたいものです。

(Y)

休日の漏水修理

Table with 4 columns: 当番日, 業者, 電話, 連絡先. Rows include 大塚鉄工所, 岡福水道工事店, 奥田水道商会, 神田鉄工所, 城戸電業社.



口座振替をご利用ください。

上下水道の使用料のお支払いは、便利な口座振替をご利用ください。詳しくは、水道課、取り扱い金融機関でおたずねください。
取扱い金融機関 伊予銀行、愛媛相互銀行、香川相互銀行、東邦相互銀行、愛媛信用金庫、大洲市農協